取扱説明書

モノタロウ 空圧補助機器

フィルタレギュレータ+ルブリケータユニット（FRLシリーズ）

•**34891647** 02 タイプ •**34891656** 03 タイプ •**30789964** 04 タイプ

フィルタレギュレータ（FRシリーズ）

•**34891604** 02 タイプ •**34891613** 03 タイプ •**30789946** 04 タイプ

エアフィルタ（Fシリーズ）

•**34891622** 02 タイプ •**34891631** 03 タイプ •**30789955** 04 タイプ

⚠使用上のご注意

1. 使用する前に、本製品に破損が無いかご確認ください。
2. 取付ける際に、気体流動の方向（本体に表示された△記号通り）をご確認のうえ、正しく接続してください。
3. 合成油、有機溶剤、化学薬品、鉱油、塗料などにより、破損するおそれがあるので、付着させないでください。
4. 高温、直射日光を避け、設置してください。
5. 本製品は工業向け空気圧縮用です。適用する圧力と温度以外での使用は避けてください。
6. ガス、アルコール、ガソリンなどの流体は、引火するおそれがあるので、絶対に使用しないでください。
7. お手入れの時、PC材を破壊する化学物質を使用しないでください。
8. ドレンを多量に含んだ空気は動作不良の原因になりますので、エアードライヤやアフタークーラーなどを本製品の入口側に設置してください。
9. 圧力の設定は入口側と出口側の圧力を確認しながら行ってください。
出口側の圧力は入口側の圧力より低いため、必要以上に調整ハンドルを回し過ぎると内部部品の破損原因になります。
10. 圧力調整はハンドルのロックを解除してから行い、調整後はロックしてください。
無理やり調節部分を回さないようにしてください。
11. 圧力が0.01MPa以下になった時、またはコンプレッサーの停止後に圧力が低下し、ドレンが自動的に排出されることがあります。この現象は不良ではありません。
12. 定期的にエレメント部分や樹脂ケース内部の汚れや残留物についてチェックしてください。
13. ドレン排出口が下になるように垂直に取付けてください。動作不良の原因になります。
14. 配管の際はシールテープをオス側に巻付けてご利用ください。

仕様

使用流体	圧縮空気	使用温度	5℃～60℃
接続口径	02タイプ→1/4"PT 03タイプ→3/8"PT 04タイプ→1/2"PT	材質	本体:鉄 ボール:ポリカーボネート シールド:亜鉛合金
最高使用圧力	1 MPa	フィルタ	セミオートドレン
保証耐圧力	1.2 MPa	フィルタドレン貯留量	80(mL)
設定圧力範囲	0.05～0.85 MPa	ルブリケータ貯油量	150(mL)
推奨使用油	ISO VG 32		
ろ過度	5μ	取付方法	ブラケット取付け
最大流量	02タイプ→1750(L/min) 03タイプ→2500(L/min) 04タイプ→3000(L/min)		

フィルタレギュレータ フィルタ<FRL、FR、F>

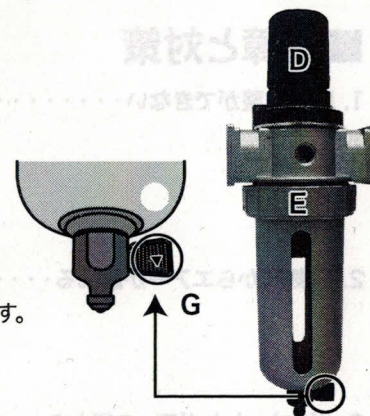
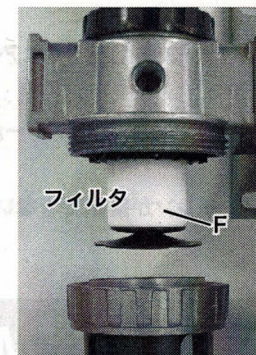
●圧力調整

Dを上方向に引っ張り、
右回りに回せば、圧力が上がります。
左回りに回せば、圧力が下がります。
必要な圧力まで調節してから、
Dを歯車に合わせて下方向に押し、締めます。

●排水

・圧力がかかっている時
Gを回し、三角形の印を「▼」にすれば排水できます。
「▲」にすれば排水が停止します。

・圧力がかかっていない時
三角形の印の方向に関わらず、自動に排水されます。

●手入れ

1. 空気の供給を止め、空気を排出します。
2. Eを左に回し、シールドを外します。
3. Fを左に回し、フィルタを外します。
フィルタに付着しているごみを取り除けば、再び使用できます。
4. シールドの中の透明ボウルを乾いた布できれいに拭き取ってください。
5. 元通りに組立てます。Oリングとシールの位置もご確認ください。

ルブリケータ<FRL>

●給油方法

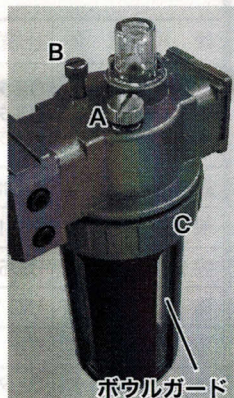
Aを外し、オイルを入れます。
上限(赤いライン)まで達したら、Aをきちんと閉めてください。
しばらくたつと、オイルが流れてきます。
※シールドを外して直接給油をしないでください。
※空圧補助器を使用しながら給油できます。

●給油量調整

1. 給油量を減らす→Bを右回りに回します。
   給油量を増やす→Bを左回りに回します。

1.の調整後、空気流量が大きければ、給油量が多くなります。
空気流量が小さければ、給油量が少なくなります。

●手入れ

1. 空気の供給を止め、空気を排出します。
2. Cを左にまわし、シールドを外します。中の透明ボウルを乾いた布で
   きれいに拭き取ってください。
3. 元通りに組立てます。Oリングとシールの位置もご確認ください。

■故障と対策

1. 圧力調整ができない・・・・・・・・ 流れる方向に対して機器が逆に取付けていないかご確認ください。
バルブガイドやシート内部に異物が噛みこんでいる場合がありますので内部洗浄を行ってください。
出口側に設定圧力を超える圧力が加わっているかもしれないのでエアー回路の見直しを行ってください。

2. 排気穴からエアーが漏れる・・・・ 流れる方向に対して機器が逆に取付けていないかご確認ください。
異物が噛みこんでいる場合がありますので内部洗浄を行ってください。
減圧状態かご確認ください。減圧状態にあるエアー漏れ現象は正常現象です。
出口側に設定した圧力値に達した時、エアー漏れ現象は停止します。

3. ボンネットとボディの間からエアーが漏れる・・・・・・・・・・・・ ボンネット部分のネジが緩んでいる場合がありますので締め直しをしてください。

4. ケースやボディからエアーが漏れる・ ケースパッキンが破損している場合があるので使用を中止してください。

5. ドレンコックからエアーが漏れる・・ ドレンコックの弁部分に異物が噛みこんでいる場合がありますので、コックを開いて数秒間エアーブローしてください。

6. ドレンが排出できない・・・・・・・ ドレンコックの排出口が固形異物などにより目詰まりしている場合があるので使用を中止してください。